

亀戸の集合住宅が「2017年度 グッドデザイン賞」を受賞

亀戸の集合住宅が、このたび2017年度グッドデザイン賞(主催：公益財団法人日本デザイン振興会)を受賞しました。亀戸の集合住宅は建物のファサードに生活の動きを映し出すことをテーマに、相互に行き来しあうような活気が生まれ一体となって溶け込んでいくようなことを目指した結果、特に「のっぺりとなりがちな複合住宅のファサードがわずかな操作によって見え方の奥行きを生み出している」として高く評価されました。

□ 名称：亀戸の集合住宅

□ 概要：

都心の比較的高密度な地区に位置する、7階建44戸からなるワンルーム集合住宅の計画である。この計画により公園と街と一体となり、活気を呼び戻す、根本的な街並みの改善を目指すこととした。道、公園に対してどのように対峙し、向き合うかが本計画の課題であった。

□ プロデューサー：株式会社GS ディベロップメント 代表取締役 徳山真樹

内野建設株式会社 代表取締役社長 矢野文雄

ディレクター：株式会社GS ディベロップメント 大嶋譲二

内野建設株式会社 専務取締役 黒田哲治

内野建設株式会社 松原太

デザイナー：AIUEO STUDIO 株式会社 代表取締役 佐々木純也

ito.+伊藤教司建築設計事務所 伊藤教司

□ デザイナーからのコメント：

ワンルームマンションという画一的になりがちな計画であるからこそ、周囲の環境やデザインの可能性をよりどころに多様化するきっかけになれば良いと考えている。本計画が波紋となって広がっていき、周辺への牽引し、街並みの発展につながっていくことを期待している。

□ グッドデザイン賞審査委員による評価コメント：

のっぺりとなりがちな複合住宅のファサードがわずかな操作によって見え方の奥行きを生み出している点がデザインとしての評価である。公園から見た遠景ではグリッドのような全体像と見えるが、近景ではダイナミックなファサードになっている。

□ グッドデザイン賞ウェブサイトでの紹介ページ

<http://www.g-mark.org/award/describe/45695?token=rQnHhK6kdI>

グッドデザイン賞受賞展「GOOD DESIGN EXHIBITION 2017」に出展

本年11月1日(水)から東京ミッドタウンで開催される、最新のグッドデザイン全件が集まる受賞展「GOOD DESIGN EXHIBITION 2017」において、亀戸の集合住宅が本年度受賞デザインとして紹介されます。

[GOOD DESIGN EXHIBITION 2017]

会期：11月1日(水)～11月5日(日)

会場：東京ミッドタウン(東京都港区六本木)

<http://www.g-mark.org/gde2017/>

グッドデザイン賞とは

グッドデザイン賞は、1957年創設のグッドデザイン商品選定制度を発端とする、日本唯一の総合的なデザイン評価・推奨の運動です。これまで59年にわたり、デザインを通じて日本の産業や生活文化を向上させる運動として展開され、のべ受賞件数は40,000件以上にのぼります。今日では国内外の多くの企業や団体などが参加する世界的なデザイン賞で、グッドデザイン賞受賞のシンボルである「Gマーク」は、すぐれたデザインを示すシンボルとして広く親しまれています。

<http://www.g-mark.org/>



このプレスリリースに関するお問い合わせ先

AIUEO STUDIO 株式会社 TEL : 03-5774-0709 E-mail : info@aiueo-studio.com